

2022年5月18日

SPINGLE MOVE

株式会社カミーノの平和教育活動「ONGAESHI(恩返し) プロジェクト」
とのコラボレーション企画
広島などに寄贈された千羽鶴を
アップサイクルしたスニーカーを発売

株式会社スピングルカンパニー(本社：広島県府中市、代表取締役社長：内田貴久)は、国内はもとより世界各国から平和への祈りを込めて広島、長崎などに寄贈された千羽鶴を再利用した生地をアッパーに採用したスニーカー SPINGLE MOVE「SPM-1005」を、2022年5月21日から発売します。

本商品は、初年度 500 足の販売を計画しています。



■商品特長

1) 折り鶴再生糸(折り鶴レーヨン)を使用したキャンバス生地をアッパーに採用

当社では、株式会社カミーノ(本社：東京都港区、社長：深澤幸一郎)が進める折り鶴再生紙、折り鶴再生糸を活用した平和教育活動「ONGAESH プロジェクト」の取り組みに、広島の企業として深く共感し、このプロジェクトに参画して商品を作りたいと打診し、今回のコラボレーション企画が実現しました。

繊細な折り鶴再生糸(折り鶴レーヨン)を使用した初めてのキャンバス生地の開発はととも難航しましたが、広島県備後地区の生地メーカー・篠原テキスタイル株式会社(本社：広島県福山市、社長：篠原由訓)の協力により約1年をかけ、緯糸に折り鶴レーヨン、経糸に綿を使用したオリジナルのキャンバス生地を完成させました。

・篠原テキスタイル株式会社 HP <https://www.shinotex.jp/>



SPINGLE MOVE x ONGAESHI Project



篠原テキスタイル株式会社

●株式会社カミーノの「ONGAESHI プロジェクト」について

平和への願いを込めた千羽鶴は広島だけで世界中から毎年約 1,000 万羽（重さ：約 10 トン）寄贈されています。環境配慮型素材メーカーである株式会社カミーノでは、広島市がその保管に困っていることを聞き、折り鶴を贈っていただいた恩に感謝しつつ、新たな製品として再生させ、平和実現のために活動している学校や団体に寄贈する「ONGAESHI プロジェクト」を 2011 年から開始しました。千羽鶴に使用されている紙以外のテグスやビーズといった異物を自動的に除去する新技術により、手作業を省き再生作業の大幅な効率化を実現し、再生紙を使った ONGAESHI Paper(恩返紙)の販売や、再生糸を使用したバンダナや T シャツなどを製品化しています。



・株式会社カミーノ HP <https://ca-mi-no.jp/>

2) 各種ディテール

- ・色とりどりの折り鶴の写真プリントした SPINGLE MOVE のロゴ入り織ネームをベロ上部分に取付けてデザインのポイントにしています。
- ・インソールには折り鶴をモチーフにしたカラフルなオリジナル柄をプリントし、コラボレーションの証として SPINGLE MOVE と ONGAESHI プロジェクトのロゴを入れています。
- ・シューレースには天然素材である麻混の特注綿紐を採用・ライニングに使用した「COOL MAXIM/クールマキシム」は、防臭・抗菌・防カビ機能を持ち、吸汗性・拡散性にも優れた機能素材で、55%が使用済みペットボトルや繊維くずなどの再生素材から作られています。
- ・織ネームの折り鶴の写真やインソールのデザインが際立つよう、サイドのフォクシングテープやアウトソールにはアッパーの生成り色と合わせて抑えた色味を選び、ビンテージスニーカーのような雰囲気になっています。



折り鶴のプリント入り織ネーム



折り鶴モチーフのオリジナル柄インソール



特注シューレース

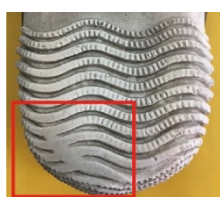


アッパーの色に合わせたフォクシングテープとアウトソール

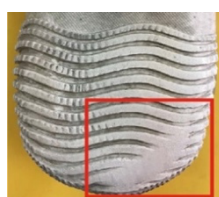
3) 「RUBEAR CNF ソール」を採用

「RUBEAR CNF ソール」は、鉄の約 1/5 の軽さでありながら鉄の約 5 倍以上の強度とされる植物由来のナノサイズ極細繊維・セルロースナノファイバーをアウトソールのゴムに練り込むことで、従来の「SPINGLE MOVE」のアウトソールと比べて摩耗性を約 40%※低減します。(※当社調べ)

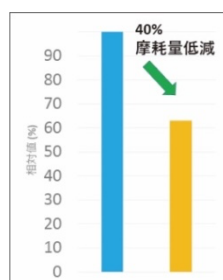
・アウトソールの摩耗性の比較（左右同時に試着し一年間使用後、かかと部分の摩耗を確認）



セルロースナノファイバー(CNF)
添加



セルロースナノファイバー(CNF)
未添加



【ソールブランド「RUBEAR /ルベア」】

ソールブランド「RUBEAR /ルベア」は、親会社である株式会社ニチマンのポリシーである「足の健康・安全・安心なフットウェアの開発」を受け継ぎ、「ソールの可能性の追求」をテーマに研究・開発を進めています。昨年6月には、「セルロースナノファイバー」を配合し、従来よりも耐摩耗性を約40%向上させた「RUBEAR CNF ソール」採用モデルを発売しています。



■展開商品

SPINGLE MOVE「SPM-1005」



- ・アッパーには広島などに贈られた千羽鶴をリサイクルしたオリジナルのキャンバス生地を採用
- ・ソールには「RUBEAR CNFソール」を採用。
- ・バルカナイズ製法で生産。色は生成りのみ。XS～XL(ユニセックス)の全7サイズ展開。
- ・メーカー希望小売価格：18,700円（消費税込） 発売日：2022年5月21日

■本件に関するお問合せ先

【消費者】 スピングルカンパニー東京企画室 TEL:03-3871-2171

【報道関係者】 スピングルカンパニー東京企画室 プレス担当：滝口

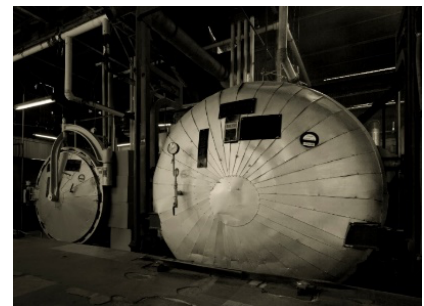
携帯電話：080-8985-5316 TEL:03-3871-2171 メール：takiguchi@spingle.jp

【ご参考】

■バルカナイズ製法について

バルカナイズ製法は、靴本体と硫黄を加えたゴム底材を釜に入れ、加熱・加圧をかけて底付けを行う製法です。底がはがれにくく、靴本体の型崩れが少ないといった利点があります。一方で、生産効率の低さから、この製法を採用するメーカーは極めて少なくなっています。

SPINGLE MOVEは、その希少価値の高い製法で、手作業を惜しまず、職人の手によって1足ずつ丁寧に生産されています。



■SPINGLE MOVE ブランドについて

SPINGLE MOVE は、株式会社スピングルカンパニーのオリジナルブランドです。2002年1月にブランドデビューし、今年で20周年を迎えます。世界で活躍する日本のデザイナーブランドとのコラボレーションを次々に発表し、履き心地にこだわり、自社工場で長年培った技術と足になじむ革素材を融合させた新しい“レザーシュー”として、「職人たちが持つ高い技術と品質を活かした、個性的かつ流行に左右されない商品とは何か」を追求しています。

2012年からは、ビジネスシーンでも合わせられる SPINGLE Biz を展開。紳士靴とスニーカーの両方の利点を高次元で融合させた新しいビジネスシューズを提案しています。

■ SPINGLE COMPANY について

株式会社スピングルカンパニーは、モノづくりが盛んな備後地方にある広島県府中市に本社を構えるスニーカーのメーカーです。親会社の株式会社ニチマン（代表取締役社長：内田貴久）が1997年に設立し、オリジナルブランド SPINGLE MOVE の企画・製造・販売を手掛けています。

株式会社ニチマンは1933年に広島県府中市で創業し、戦後は「日満ゴム工業」としてゴムタイルや製靴用ゴム製品、ゴム長靴や運動靴などを製造・販売してきた老舗のゴム加工メーカーです。創業時からの主力であるゴムタイル（現・株式会社ニチマンラバーテック製造）は成田国際空港や東京ビッグサイト、全国の主要な駅や文化施設などの床材としても活用されています。

90年培ったゴム加工技術は SPINGLE MOVE の履き心地やデザインに余すことなく活かされています。またスニーカーブランドでは珍しくリペアサービスを展開するなど、製品のその後を見据えたモノづくりにも活用されています。

- ・社名：株式会社スピングルカンパニー
- ・所在地：〒726-0005 広島県府中市府中町74-1
- ・代表者：代表取締役社長 内田貴久
- ・設立：平成9年（1997年）4月
- ・事業内容：メンズ・レディスレザーシューズ生産・企画・販売
- ・販売店：スピングルショップ13店舗、全国の百貨店、シューズショップ350店舗（2022年4月現在）
- ・HP URL：<https://www.spingle.jp/>

